

2021年度 山梨学院短期大学 免許法認定講習

シラバス			
講習名	保育内容特論(造形表現)		
講習期間	2021年8月10日(火)～8月11日(水)	単位数	1単位
教室名	21号館1階104 図画工作室 21号館101 教室	受講定員	10名
担当講師	伊藤 美輝(保育科教授)		
講義概要	<p>第1日目は、乳幼児期における造形表現活動の意味について「その活動により何が育つか」「保育者は何を育てるのか」という視点で考える。またこの時期における造形活動と成長との関係を、乳幼児の作品を見るとともに実際の製作を通して考え、今後の造形表現活動に関わる為の資質の向上を図りたい。</p> <p>第2日目は、乳幼児期における造形表現活動において出会う様々なものを整理して、それらをエレメントに分けて「出会い」を分析するとともに、造形表現活動における経験の継承と発展について考え、今後の造形表現活動を計画する力の向上を図りたい。</p>		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造形表現と乳幼児期の成長との関わりについて理解する。 ・造形表現における表現の変化と、受け止め方について理解する。 ・人的環境としての「保育者」の役割を考える。 ・造形表現に含まれる2つの「エレメント」について理解する。人の行為の「きる・はる・ぬる」と物的環境の「素材・画材・道具」の意味について理解する。 ・造形表現活動における計画とエレメントの関わり方を理解する。 		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	造形活動の意味と、その役割	人類の進化と造形、そして人の成長と造形の役割を考える。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	環境からの刺激と感性の芽生え	「表現とは何か」その基本過程における「内的循環」と環境との関わりを考える。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	乳幼児期の絵画・造形表現の変化	「殴り書き」「もてあそび」等の意味から、どのように受け止め関わるかを、乳幼児の作品を見て考える。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	活動及び作品の受けとめかた	製作活動における、人的環境としての保育者の役割と姿勢について考える。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

シラバス			
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	造形表現活動のエレメント1	造形表現活動を「素材・道具・原理」のエレメントに分けて分析して考える。
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	造形表現活動のエレメント2	造形表現活動を「きる・はる・ぬる」のエレメントに分けて分析して考える。
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	造形表現活動の体験の継承と発展	活動に含まれるエレメントを、如何に関係づけをして、継承・発展させるかを考える。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	成長段階の活動での出会いと展開	各成長段階における造形表現の計画を、テーマ設定の視点により考えてその活動の展開について理解する。
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			
<p>講義の中で製作を行います。画材及び道具は準備しておきますので持参する必要はありません。ただし、絵の具等使用しますから汚れても良い服装または準備をしてください。</p>			

2021年度 山梨学院短期大学 免許法認定講習

シラバス			
講習名	理科教育法特論 I		
講習期間	2021年8月12日(木)～8月13日(金)	単位数	1単位
教室名	51号館205教室 45号館101実験室	受講定員	10名
担当講師	萱嶋 泰成(食物栄養科教授)		
講義概要	理科の科目のうち、化学と生物学の分野を中心として基礎的な科学概念や理論について再確認し、理科の授業に興味・関心を高め、科学的な見方や考え方を育てる授業のあり方とは何か、事例を挙げながら共に考えていく。遠隔授業でも行える理科実験、観察実験の基本操作、実験室や機材の使用法や注意点、身近な物質である酸素と水の特徴を通じて科学の基本を学ぶことを中心に展開していく。		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学における思考の基本を理解する ・実験や観察の基本的動作を確認する ・現在の理科教育で求められている需要に即した理科の授業を計画し、実行できるようになる 		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	理科教育の現状と今後	理科教育の現状と今後について考えます。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	遠隔授業における理科(1)	遠隔授業でも行える理科実験を考えます。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	分子生物学の進展	最新の遺伝子操作技術とウイルスについて学びます。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	「観る」と「記録する」	観察実験の基本操作について確認します。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

シラバス			
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00～10:30 (90分)	自然科学的なもののみかた	「論理的な思考」と「多面的なみかた」について理解します。
	10:30～10:40	休憩	
6	10:40～12:10 (90分)	遠隔授業における理科 (2)	遠隔授業でも行える理科実験を考えます。
	12:10～13:00	昼食休憩	
7	13:00～14:30 (90分)	実験室と理科機器	実験室や機材の使用法と注意点について学びます。
	14:30～14:40	休憩	
8	14:40～16:10 (90分)	「なぜ？」に答える - 酸素・水 -	身近な物質である酸素と水の特徴を通じて化学の基本を学びます。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			

2021年度 山梨学院短期大学 免許法認定講習

シラバス			
講習名	発達心理学特論 I		
講習期間	2021年8月16日(月)～8月17日(火)	単位数	1単位
教室名	サザンタワー3階301教室	受講定員	10名
担当講師	中野 隆司(保育科教授)		
講義概要	<p>第1日目は、発達の原理として遺伝×環境問題を再考する。その上で、脳科学等の成果も踏まえつつ、乳児期の心身の発達について概観し、とくに愛着の形成については、その後の発達に大きな影響を与えることから、やや詳しく検討する。また、最近ますます深刻化しつつある子どもの虐待の問題についても考察する。</p> <p>第2日目は、脳科学の知見も取り入れつつ、幼児期～児童期の子どもの認知・感情・社会化等の発達について理解を深めるべく考察する。幼児・児童の健全な発達に資するべく試みられている、様々な取り組みの事例についても紹介する。また、発達障害とその対処法、いじめなどの諸問題についても検討する。</p>		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝×環境問題について、その相互作用の実際も含め理解を深める。 ・ 乳児の発達について、脳科学の知見も含めて理解を深める。 ・ 愛着の形成の重要性について再認識する。 ・ 主に幼児期～児童期の発達について、脳科学の知見も含めて理解を深める。 ・ 発達障害について、また、いじめや学級崩壊について、その事例と対処法について理解を深める。 		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	発達の原理(遺伝×環境問題再考)	遺伝×環境の相互作用の実際の事例を検討し、発達の原理を理解する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	乳児の脳 乳児の心身の発達	脳科学の視点から、乳児の発達の様相を理解する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	愛着の形成(1)	愛着の形成とその後の発達の関係について理解する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	愛着の形成(2) 子どもの虐待	虐待により、愛着形成が阻害された場合の悪影響等について理解する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

シラバス

タイムテーブル

コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	あそびを中心とした幼児・児童の発達	脳科学の知見も含め、主に幼児期の発達の様相を理解する。
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	幼児期~就学前後の社会化の過程、感情コントロールの発達	子どもの社会化の発達及び感情のコントロールを学ぶ過程を理解する。
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	発達障害について	学習障害、広汎性発達障害、ADHDについてその対処法も含め理解する。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	いじめ、学級崩壊について	いじめや学級崩壊などの問題について、対処事例をもとに考察する。
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	

履修上の注意事項等

2021年度 山梨学院短期大学 免許法認定講習

シラバス			
講習名	算数科教育法特論Ⅱ		
講習期間	2021年8月18日(水)～8月19日(木)	時間数	1単位
教室名	21号館101教室	受講定員	10名
担当講師	奥山 賢一(保育科教授)		
講義概要	算数科の全体の見通しをもちつつ、算数科の授業を実践的に展開する授業が行える教師として、「B 図形」「D データの活用」領域の基本的な知識・技術と算数科の授業づくりの実際的な方法を講習する。主には、量と測定・データの活用の考え方について、指導体系を把握することを目的とする。		
学習の目標	小学校における算数科の領域について、その目標と指導内容を理解する。 「算数科における主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた学習指導案や教材作成の在り方を把握し、実際に授業を行う中で授業実践力並びに評価力を身に付ける。		
タイムテーブル			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	新学習指導要領における算数科の指導領域「B 図形」「D データの活用」について、体系的な内容を学ぶ	旧学習指導要領と新学習指導要領を比較、改善の意図について把握する
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	【授業構成論Ⅰ】 「B 図形」「D データの活用」の領域の考え方について、具体的教材を通して指導の仕方を学ぶ	量と測定・データの活用の考え方について、指導体系を把握する
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	【模擬授業の準備】 「B 図形」「D データの活用」領域の授業づくり(指導案づくりと教材づくり)を行う。	グループ内で分担しながら、指導意図に沿った模擬授業の指導案・教材作成を行う。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	【模擬授業】 「B 図形」「D データの活用」領域の模擬授業を実施する。	模擬授業を行い、授業者と観察者の双方の立場から学習目標をめざした授業改善の工夫を見出していく。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

シラバス

タイムテーブル

コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	新学習指導要領における算数科の指導領域(「B 図形」「D データ活用」)について体系的な内容を学ぶ	旧学習指導要領と新学習指導要領を比較、改善の意図について把握する
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	【授業構成論2】 「B 図形」「D データ活用」の領域の考え方について、具体的教材を通して指導の仕方を学ぶ	図形のとらえ方、データ活用の考え方について、指導体系を把握する
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	【模擬授業の準備】 「B 図形」「D データ活用」領域の授業づくり(指導案づくりと教材づくり)を行う。	グループ内で分担しながら、指導意図に沿った模擬授業の指導案・教材作成を行う。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	【模擬授業の実施】 「B 図形」「D データ活用」領域の模擬授業を実施する。	グループ毎に模擬授業を行い、授業者と観察者の双方の立場から授業改善の意図を見出していく。
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			